



虹をかけよう『にしむた』

令和5年11月20日 NO.32

筑後市立西牟田小学校 校長 徳永 裕(文責)



上の写真は、原爆資料館を見学した直後のホール内での様子です。これまで何回となく修学旅行の引率をしてきましたが、この場所に全員が集合して真剣にメモをする光景は見たことはありません。

引率教師が「ここでメモをしましょう。」と言ったわけではありません。子ども達の自然な動きに見えました。

修学旅行での学びの目的が明確であると同時に、学んだことを自分のものにしようとする意識があります。添乗員さんが驚かれました。

実は、ホテルで夕食をとった後に、その添乗員さんから担任の鍋田先生に連絡が入りました。

「ホテルの支配人から『出された夕食をきれいに全部食べ、そして食器を片づけやすいようにきれいに並べてありました。こんな子ども達は初めてです。担任の先生に伝えてください。』と連絡がありました。私も修学旅行に随分と連れてきていますが、こんな連絡をホテルの支配人から受けるのは初めてです。」

修学旅行で学ぶこともありますが、学校や家庭で学んでいることを修学旅行という場で発揮しているような気がしました。フィールドワークでも、自分達で動く姿がありました。【裏面に続きます】

西牟田の「ひと・もの・こと」に学ぶ総合的な学習の時間 生活科



2年生の生活科の学習では、「町にはどんな人がいるのかな？」という単元で、町探検の計画を立て町の人にインタビューし、町のすてきなことを伝える学習をしています。

そこで、北島商店・津城衣料店・寛元寺公民館・陣太鼓に取材に行きました。その取材をもとに『町のすてき発表会』をすることにしています。(※「陣太鼓」の写真がなくて申し訳ありません。)



昨年度、3年生は総合的な学習の時間で「久留米緋」について追究しました。今年度は、西牟田校区は“繊維の町”ということから、「藍染体験」(藍華田中耕工房)・「久留米緋」(久保かすり織物)に加え、「タオル」(タシマタオル)についても調べることになりました。

緋とタオルは、ともに伝統を受け継ぎ、新たな価値を生み出していることだと考えます。大きな違いとして、タオルは、とても身近な物であり、毎日使う物です。そんないつもお世話になっている物について、**価値の再発見とタオルのよさを基にしたプロジェクト**が展開されそうです。

他の学年も地域の「ひと」「もの」「こと」について調べる学習を行っています。地域の皆様のお陰で充実した学習をすることができています。感謝しています。ありがとうございます。



4年生の総合的な学習の時間では、前回の学校便りでも紹介したように「西牟田のバリアフリーマップを作ろう！」の学習で**点字体験学習・手話体験学習・アイマスク体験・車椅子体験学習**を行いました。

そして先日は、サンコアと筑後船小屋駅に行き、バリアフリーを探してきました。探す前に、**しっかりと学習をしていますので、子どもの視点が明確で視野が広がっていました。**

今後の主な行事予定

急な変更が生じる場合があります。

【11月の主な行事予定】

- 22日(水) 研修会のため1～4年給食後下校
- 23日(木) 祝日：勤労感謝の日
- 29日(水) 委員会活動

【12月の主な行事予定】

- 1日(金) 全校朝会
- 4日(月) 持久走記録会
スポコン広場南筑後大会
※3の1, 6の1が出場します。
- 6日(水) 標準学力検査(国・社)
クラブ活動
- 7日(木) 標準学力検査(算・里)
- 8日(金) 筑後北中ブロック朝の挨拶運動
- 12日(火) 学期末個人懇談会(町)
- 13日(水) 学期末個人懇談会(寛元寺・鷲寺)
- 14日(木) 学期末個人懇談会(野中・北牟田)
- 15日(金) 学期末個人懇談会(久保・流)
- 20日(水) 読書ボランティア, 大掃除
- 22日(金) 終業式(給食あり)